

# AWS における Red Hat Enterprise Linux デプロイメントの自動化

## 自動化による一貫性の獲得

Ansible Automation Platform は、クラウド環境のあらゆる側面を自動化およびオーケストレーションすることで、一貫性を向上できます。

- リソースをオンデマンドで
- プロビジョニングおよび廃棄する
- 一貫した構成とデプロイメントを確保する
- 重要なワークロードのライフサイクルを管理する
- セキュリティポリシーを大規模に適用し、順守された状態を維持する

Ansible Automation Platform をクラウド環境の効率化に役立てる方法をご覧ください。

## 困難さを増すクラウドの複雑性

ハイブリッド環境とマルチクラウド環境の普及が進んでいます。IT 組織に、高度に規制された専用のオンサイト・インフラストラクチャと、ほぼ無限のクラウドリソースの両立という、「いいところ取り」を可能にするからです。しかし、プラットフォームやアプリケーションの移行、インフラストラクチャおよび複数の環境に分散されたワークロードの管理は、複雑になりがちです。

オペレーティングシステムの移行、デプロイメント、構成、管理は、IT スタックにとって重要であり、ハイブリッドおよびクラウドの運用を成功させるための鍵となります。Red Hat® Enterprise Linux® と Red Hat Ansible® Automation Platform は連携して、Amazon Web Services (AWS) 上のアプリケーションおよびワークロード向けに一貫した信頼性のある、セキュリティ重視の基盤の効率的な構築および管理を支援します。

## Red Hat Enterprise Linux システムを AWS に移行する

オペレーティングシステムおよびワークロードを手作業で移行すると、時間と人がかかります。完了まで何カ月も要します。Ansible Automation Platform はシステムおよびアプリケーションをクラウド環境にすばやく効率的に、確実に移行するための支援となります。オンサイトから AWS へ、または従来のコンピューティング・アーキテクチャから AWS 上のクラウドネイティブ・プラットフォームへなど、Red Hat Enterprise Linux ワークロードを必要な場所に移動させます。Ansible Automation Platform は、従来型、仮想化、コンテナ化など、あらゆる種類のインフラストラクチャで動作します。そのため、従来のバックアップとリストア、スキャンと再作成、さらには Infrastructure-as-Code (IaC) など、お客様の組織に最適な移行戦略を使用できます。また、ワークフロー・ビジュアルライザーを使用すると、移行全体を単一のツールでオーケストレーションできます。

## ハイブリッド環境およびクラウド環境に自動化を組み込む

Ansible Automation Platform では、プロビジョニングおよびデプロイメントから、Day 2 オペレーションと管理、ポリシー適用と施行まで、ハイブリッドクラウド・ワークフロー全体をオーケストレーション、運用化、管理できます。ここでは、ハイブリッド環境およびクラウド環境での Red Hat Enterprise Linux デプロイメントで自動化できる多数のタスクの一部を取り上げます。

## AWS 上でのリソースのオーケストレーション

- ▶ 既存の自動化ワークフローに組み込まれた IaC ツールを使用して、システムのプロビジョニングや廃棄を行います。
- ▶ Red Hat Enterprise Linux インスタンスを **システムロール** を使用して、比較的容易に設定し、デプロイします。システムロールとは、Ansible Automation Platform に基づく共通サービスとタスクの厳選されたサポート付きライブラリです。
- ▶ オンサイトや AWS のクラウド・インフラストラクチャ全体で、一元化された **automation mesh** を使用してワークロードを管理し、スケーリングします。
- ▶ ServiceNow、SAP S/4HANA®、Microsoft Windows、Microsoft SQL Server などの一般的なワークロードのライフサイクル全体を、**Red Hat Ansible Certified Content Collections for AWS** および AWS での **運用**と **トラブルシューティング**のための Ansible 検証済みコンテンツを使用して管理します。
- ▶ 環境上の Red Hat Enterprise Linux システムを最新バージョンにアップグレードします。

## システムロールの活用

Red Hat Enterprise Linux のシステムロールは、システムのデプロイメントおよび管理に関する多数の共通タスクの自動化に役立ちます。

- 複数のシステムに対して反復可能な構成を取得する
- 日常的なシステム管理を効率化する
- クラウド環境全体で管理タスクを一貫して実行する

## AWS 上での管理プロセスの運用化

- ▶ [Red Hat Insights](#) で特定されたシステムの潜在的な問題を、[Event-Driven Ansible](#) を使用して、ユーザーに影響が及ぶ前に、手作業を行うことなく修復します。
- ▶ Red Hat Enterprise Linux インスタンスの構成ドリフトを監視し、修復します。
- ▶ Red Hat Enterprise Linux サーバーインベントリとその他のクラウドリソースを管理します。

## AWS 上でのクラウド環境の管理

- ▶ システムロールを使用して、Red Hat Enterprise Linux セキュリティポリシーを自動的に適用します。
- ▶ Red Hat Enterprise Linux セキュリティ設定が AWS 環境で一貫していることを確認し、問題が検出された場合は自動的に修復します。
- ▶ Red Hat Enterprise Linux の [ID 管理とアクセス管理 \(IAM\)](#) をインフラストラクチャ全体でセットアップします。
- ▶ [Ansible Automation Hub](#) を使用して、組織全体で Red Hat Enterprise Linux を管理するための信頼できる自動化コンテンツを共有し、再利用します。
- ▶ Red Hat Enterprise Linux ユーザーグループを通じて、AWS リソースへのアクセスを管理し、制御します。
- ▶ AWS のインスタンス間でトラフィックを再分配して、リージョン間でのワークロードのバランスを調整します。

## 詳細はこちら

Red Hat Enterprise Linux の多数の共通管理タスクを Ansible Automation Platform で自動化すると、プロセスを最適化し、構成ミスのリスクを低減し、環境全体で構成ドリフトを回避することができます。

Ansible Automation Platform を Red Hat Enterprise Linux と統合して、IT 自動化をクラウド運用のあらゆる側面に導入する方法を[ご覧ください](#)。



## Red Hat について

Red Hat は、[受賞歴のある](#)サポート、トレーニング、コンサルティングサービスをお客様に提供し、複数の環境にわたる標準化、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、複雑な環境の統合、自動化、セキュリティ保護、運用管理を支援します。

**アジア太平洋**  
+65 6490 4200  
apac@redhat.com

**オーストラリア**  
1800 733 428

**インド**  
+91 22 3987 8888

**インドネシア**  
001 803 440 224

**日本**  
03 4590 7472

**韓国**  
080 708 0880

**マレーシア**  
1800 812 678

**ニュージーランド**  
0800 450 503

**シンガポール**  
800 448 1430

**中国**  
800 810 2100

**香港**  
800 901 222

**台湾**  
0800 666 052

**f** fb.com/RedHatJapan  
**t** twitter.com/RedHatJapan  
**in** linkedin.com/company/red-hat

jp.redhat.com  
#506846\_0923

Copyright © 2023 Red Hat, Inc. Red Hat, Red Hat ロゴ、および Ansible は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. またはその子会社の商標または登録商標です。Linux® は、米国およびその他の国における Linus Torvalds 氏の登録商標です。